

ライブラリーで感じる富士山の魅力

〈静岡県富士山世界遺産センター 企画総務課 主査 長嶋昌和〉

当センター1階に「富士山ライブラリー」があるのをご存じですか？

こちらでは、専門書だけでなく、雑誌や写真集、絵本やDVDなど、幅広い分野の富士山に関する資料を随時収集しております。今回は、富士山ライブラリー司書のお二人に、**ライブラリーで感じる富士山の魅力**を語っていただきます。

それではさっそくお話を伺いましょう！

1. 自己紹介をお願いします。

富士山ライブラリーで司書をさせていただいております、山崎と申します。公立図書館で勤務させていただき、一昨年の7月よりお世話になっております。

私の好きなものは、約50年来のファンであるロックバンドのクイーン、広隆寺の弥勒菩薩さま、エジプト神のメジェドさま、ガンダーラの仏像さま、役行者さまにお仕えする前鬼さまと後鬼さま、ゴジラさま、そして美濃屋の柿の種です。よろしく願い致します。

2. センターの好きなところ・オススメできるところを教えてください。

センター内は、とても清々しくてクリアな雰囲気が好きです。

ショップで販売しております、『富士すがた』。世界遺産センター限定商品の最中で、しっとりした館と最中の皮のサクサクした歯ざわりが絶妙なバランスでマッチしています。『宮ガチャ』は富士宮市キャラクターのさくやちゃんとコラボして設置しております。ぜひ、お試しください。

富士山ライブラリーでは、新しく『子ども・児童コーナー』を設置しました。調べ学習などに、お役立っていただきたいと思います。

3. ライブラリーにある本の中で、オススメの本の名前と、その理由を教えてください。

『役行者と修験道の世界－山岳信仰の秘宝』（大阪市立美術館編／毎日出版社）



修験道の祖である、役行者さまが平成12年(2000年)に1300年の御遠忌を迎えるということで、東京と大阪で開催された、特別展『役行者と修験道の世界－山岳信仰の秘宝』の解説図録です。

村山浅間神社には、役行者さまと前鬼・後鬼さまのどちらかお一人しかいらっしゃいません。(盗難にあって、未だに行方不明だそうです。私は前鬼さまだと思います。)修験道や役行者さまについての解説・彫像・絵画等も掲載されており、盛りだくさんの内容です。

4. ライブラリーにある本の中で、子どもたちにオススメの本と、その理由を教えてください。

『物語で学ぶ日本の伝統芸能 三 歌舞伎』（監修：原道生／くもん出版）



歌舞伎には様々な演目があるのですが、この本では人気のある「仮名手本忠臣蔵(かなでほんちゅうしんぐら)」と「青砥稿花紅彩画(あおとぞうしはなのにしきえ)」を取り上げて、読み物としてまとめています。

映画もテレビもなかった時代には、ドラマティックなお話や華やかな衣装と舞台の歌舞伎が大人気だったそうです。この本のなかに、「歌舞伎の衣裳」、「歌舞伎のかつら」、「歌舞伎の名セリフ集」など歌舞伎に関係することが、わかりやすく説明されています。

5. コラム読者のみなさまに、メッセージをお願いします。

富士山世界遺産コラム読者のみなさま、はじめまして。司書の山崎香織でございます。毎月、コラムをお読みいただき、ありがとうございます。

「富士山」には様々な学問があり、どの分野も本当に奥が深いと痛感しております。毎日、ライブラリーで勉強するような気持ちしております。センターへお越しの際には、ぜひ、富士山ライブラリーにもお立ち寄りください。お待ちしております。

山崎さんありがとうございました。続いて鈴木さん、お願いします。

1. 自己紹介をお願いします。

富士山ライブラリーに勤務しております、司書の鈴木と申します。富士山に関する様々な本の収集・管理をしております。平安時代の文化・文学が好きなので、今年の大河ドラマを楽しみにしています。

2. センターの好きなところ・オススメできるところを教えてください。

内装・外装ともに、色やデザインがシンプルでスタイリッシュな所が好きです。そしてやはり、センターのシンボル・逆さ富士をかたどった木格子の外壁。他に類を見ないデザインは一見の価値あります！ぜひご来館いただき、間近でご覧になってみて下さい。

密かにお客様に「かわいい！」と人気なのが、ライブラリー前のトイレ＆授乳室の上にあるサインです。ご来館の際はこちらも忘れずにチェックしてみてくださいね。

富士山ライブラリー



場 所 富士山世界遺産センター1階
利用時間 9:15～11:45 / 13:15～15:45

※資料の貸出は行っておりません。ライブラリー内で閲覧ください。

蔵書検索は
こちらから



当センター
公式 HP トップ
> 研究・資料・教育
> 富士山ライブラリー



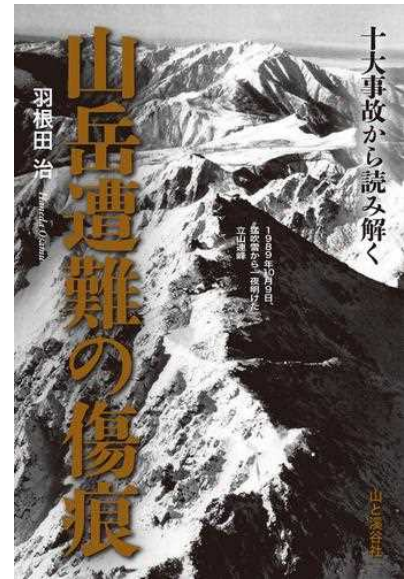
3. ライブラリーにある本の中で、オススメの本の名前と、その理由を教えてください。

『十重大事故から読み解く山岳遭難の傷痕』（羽根田治／山と溪谷社）

日本の山岳史上に名を残す十件の遭難事故を、報告書を丹念に辿り、詳細且つ読みやすい文章でつづったドキュメンタリー。

まるでその場にいるかのような臨場感と極限状態での人間模様が淡々とした筆致でつづられ、思わず息を詰めて読み進めてしまいます。

最悪の結末へと至る道筋は、分かりやすい悲劇性を纏っているのではなく、当事者たちも気付かない小さな判断ミスが重なって知らぬ間に出来上がってしまうのだなあ、そんな事を考えずにはられません。山の素晴らしさだけではなく、山の恐ろしさもまた、決して忘れてはいけないと思わされる一冊。



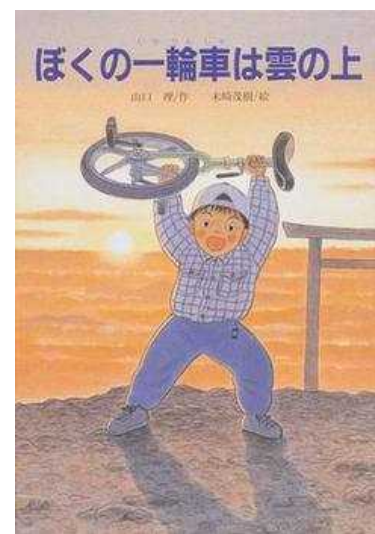
4. ライブラリーにある本の中で、子どもたちにオススメの本と、その理由を教えてください。

『ぼくの一輪車は雲の上』（作：山口理 絵：末崎茂樹 / 文研出版）

小学4年生の健太は何をやっても『まあまあ』で、これといって得意なことがない。いつもどこかにそのことが引っかかって心がモヤモヤしてしまう。

そんな健太が、『富士山の頂上で一輪車に乗りたい』という夢を抱き、お父さん・お母さん、お兄ちゃんの一樹、仲良しの友達に背中を押されて、重たい一輪車を担ぎながら日本一高い山・富士山の頂上を目指します。

決して器用ではない健太が、痛くても辛くても歯を食いしばって頑張る姿に、そんな健太を自分のできる精一杯で応援するお兄ちゃんや友達の姿に、じんわりとした感動が心に残ります。



5. コラム読者のみなさまに、メッセージをお願いします。

いつも富士山世界遺産コラムをお読みいただきありがとうございます。

富士山ライブラリーでは、信仰・歴史・民俗・地理・芸術・文学・登山・レジャーなど、富士山のもつたくさんの顔の分だけ様々な種類の本を取り揃えております。ご来館の際はぜひお立ち寄り頂き、富士山の奥深い魅力に触れてみてください。

お二人ともありがとうございました！

みなさま、ご来館の際は、ぜひライブラリーにもお立ち寄りくださいね。